

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもさぼーとセンター きらめき北谷		公表日	令和7年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	個室があるとよりよいが、パーテーション等に対応。雨の日だと外に出られないので、狭いと思う時もあるがスペース（遊び）など空間を分ける工夫をしている。	スペースが狭く感じる時がある。個室があるといいなと感じる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	4	小集団療育(5~7名)の児童に対し、4~5名のスタッフが関わられるよう手厚い支援を目指している。	個別の対応が重なるとマンパワーが足りないと思う。常勤が増えるといいと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	あえてバリアフリーにしていない（現在困る事はない）物の置き場所・活動内容の視覚化・時計の工夫。	子ども達が使いやすいトイレの工夫やシャワー室の設置を検討するなど、改善したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	計画的に環境整備を行ない、清潔を保つことを心がけている。	今後も継続して清潔な環境の維持に努めていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	個室対応やスヌーズレン室、活動場所を分けたスペースがある。	個室が足りないと感じる時がある。衝立を使うなど一部屋をわける工夫などを行なっていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	年度ごとに目標設定、前期、後期での振り返りを行っている。毎週、事業所会議を開き、職員が意見を出す場になっている。	継続したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	年に一度、事業所評価アンケートを実施している。	保護者のニーズや困り感を迅速かつ丁寧に汲み取り、改善できるよう関係性の構築に務めたい。HPでの公開を継続する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	会議やキャリアパス面談などで確認。事業所会議や療育の合間に職員同士で意見を出したり相談したりしている。	職員が意見しやすい環境づくりに努めたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	他事業所の意見を聞くなどして対応していきたい。	第三者による外部評価の機会は少ない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	毎週研修動画が配信され、受講しやすい環境である。月に一回、事業所内勉強会の機会を設けている。	パートタイムだと研修の時間は業務時間外になりがち。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	HPにて支援プログラムを公表している。毎月の活動予定表を玄関掲示スペースに貼りだしている。	継続したい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	専門支援計画書も作成し、発達に合わせた計画を立てている。モニタリングの度に支援内容の振り返りや分析をし、次の計画に活かしている。	取り組んでいるが、まだ主観的な分析が多い状態。アセスメントの取り方、時期、実施回数が適切か保護者の意見を確認しながら改善していきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	利用時やモニタリング、保護者からの相談の度に情報共有し対応策を検討している。専門的支援実施計画書も作成している。	継続したい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	すぐにとりだせる場所にファイルして保管され、フォローで支援に入る時も確認しやすい。振り替わりで確認している。	継続して計画支援に沿った支援ができるよう務める。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	事業所独自のアセスメントシートを作成し使用。行動観察は行っている。	「標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメント」を利用しているかはよく分からない。標準化されたツールを用いるように進めている最中である。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	個別支援計画書に記載している。	具体的な支援内容の設定まではできているケースとそうでないケースがあると思う。児童発達支援ガイドラインの職員全員での共通理解に努め、具体的な支援内容に設定していける様取り組んでいく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎回活動を振り返り、プログラム内容の改善や新しい企画を話し合う。プログラムごとに活動計画を作成して共通理解を図っている。	継続してこどもたちが楽しく参加できるプログラムの提供に努めたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	皆で話し合い工夫できていると思う。	継続してこどもたちが楽しく参加できるプログラムの提供に努めたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	小集団の活動に乗りにくい、内容が難しくサポートを要するときなど個々のサポートに回れるような職員配置を目指している。	継続したい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	活動計画書を確認しながら必ず行っている。	継続したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	必ず行い、改善点を共有している。	継続したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	必ず記録をとっている。	日々の記録を振り返る事で支援内容の検証に繋がるよう継続したい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	客観的評価ができるようにしている。	関係機関の様子も参考に継続したい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	基本的日常生活、自立支援の活動、創作活動（自然・表現）、地域交流、余暇の提供、意識している。	地域交流の方法を検討していきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	行なっている。	継続したい。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者が参加。または、日々の様子を詳細に把握している担当者が参加する事もある。	継続したい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	支援会議を通して教育機関との連携を行なっている。	地域の保健、医療、障害福祉と関わる機会が少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	4	行事予定の確認等、保護者と行っている。	送迎を行っていないので情報共有する機会がない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	保護者より必要な情報を確認している。	就学前に利用していた園との直接的な関わりが少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	希望者を募り法人内の就労支援事業所の見学を予定している。	あてはまるケースがない。現在受け入れている児童の年齢層が低い為、機会がまだない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	地域に児童発達支援センターが無い。	SV、研修など受ける機会がない。研修の機会を通して、関係機関との連携が円滑にできる関係性を築けるよう努力したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	企画、検討中。	様々な交流の機会を設けていけるよう検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	代表者が参加している。	継続したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	保護者の送迎時に行うようにしている。LINEの活用を心がけている。	継続したい。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	療育参観日、保護者会、家族で参加できるイベントなどを企画、実施している。	継続したい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	利用者負担額などについては、明細書と領収書を発行しており、質問があった時にお答えしている。活動プログラムをHPにて公表、毎月の活動予定を玄関掲示スペースに貼り出している。	継続したい。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリング等を行い、保護者の意思確認をして意思を汲み取るようにしている。	特性に応じた計画書を作成できるよう継続していききたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	特性に応じた課題を計画書で説明し同意を得ている。	継続したい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて相談を聞いたり、LINE等で対応している。	適時、保護者からの相談に適切に応えられる様に努めたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	北谷という立地に合わせて、バイリンガル児童の保護者向け交流会を行った。保護者会、療育参観日、家族で参加できるイベントなどを企画、実施している。	継続して機会を増やし職員への周知したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	担当の相談支援員さんへ相談しながら行っている。	継続して対応力向上に努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	ブログやLINE、Googleフォームなどを活用している。	保護者が情報をキャッチしやすい方法を検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	留意している。	継続してHPやSNSなどでも、個人情報の取り扱いに注意していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	ハンドサイン、指差し、写真やイラストを用いるなど視覚支援を交えながらコミュニケーションを取るよう意識している。	相手にこちらの意図が容易に伝わっているか、またどのような伝え方が伝わりやすいかを常に意識、配慮を行えているよう努めたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	ボランティア、夏祭りなどイベント時の声かけ方法を検討している。見学等は要望あればいつでも受け入れている。	地域住民を招待する行事はまだできていない。どのような方法なら実施が可能なのか検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	実施し、周知している。	保護者への避難経路や避難場所の周知、訓練の実施を継続していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	計画的に避難訓練を実施している。	継続したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	職員間共通確認を行なっている。	予防接種について確認はまだできていない。保護者から状況を確認しながら継続していきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーに関しては保護者確認にて対応している。食事やおやつ提供を行っていないため、クッキング活動時など必要に応じてその都度確認している。	アレルギーは確認しているが、医師の指示書まではおこなっていない。必要に応じて保護者を通して確認し、対応を継続していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	実施できている。	継続したい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	実施できている。	継続したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット報告書作成後、全員で振り返り話し合う。再発防止に向けた対策案を決め、確認している。	報告書をファイリングして、情報共有を継続していききたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修動画の視聴を行なっている。	定期的に研修を受け、適切な対応を継続していきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束の説明はしているが、対象児がいない。	今後を見据えた対応もしっかり検討しておきたい。	